



自然溢れる枚岡公園で、リラックスしよう!

枚岡公園は、昭和13年に開設され、額田山地区および枚岡山地区の2つの尾根からなり、その中央部を暗溪(豊浦川)が流下している自然を生かした公園で、面積が約43.8haです。東大阪市有数の桜の名所とも言われ、

緑まぶしい夏、紅葉の美しい秋と、季節を問わず自然散策を楽しむことができます。他に、ローラーすべり台やコンビネーション遊具が揃った「森のおもちゃ箱」などの遊戯施設もあります。展望台からは大阪平野が一望できます。

枚岡公園 HIRAOKA PARK

桜広場 Cherry Blossom Square

東大阪市有数の桜の名所と言われる「桜広場」では、約100本のソメイヨシノが咲き誇り、一面がピンク色に染まります。



豊浦橋 Toyourabashi Bridge

公園の中央を流れる暗溪にかかる真っ赤なパイプアーチ。春には新緑・秋には紅葉を楽しめる絶好のロケーションです。



枚岡山展望台 Mt.Hiraokayama Observation Deck

眺望はすばらしく、晴れた日には、淡路島や明石海峡大橋を望むことができます。お弁当を食べながら眺めるのもいいかも!



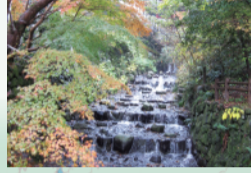
額田山展望台 Mt.Nukatayama Observation Deck

額田山展望台からは、東大阪市街の町並みを望むことができます。夕日もきれいです。



暗溪 Ankei Mountain Stream

豊浦橋から椋ヶ根橋にかけての暗溪(豊浦川)沿いは、マイナスイオンを感じるスポットです。



神津嶽 Mt.Kamitsudake

枚岡公園に隣接して、枚岡神社の起源である「神津嶽」があります。



松尾芭蕉句碑 Matsuo Basho Haiku Monument

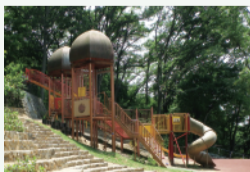
松尾芭蕉が最後の旅の途中、暗峠を越えた際に詠んだ「菊の香にくらがり登る節句かな」の句碑があります。この碑は明治時代に再建されました。



姥ヶ池の伝説
約600年前、生活に困っていた老婆が枚岡神社の御神燈の油を盗んで売っていました。そのことが村中に広まり、老婆は池に身を投げ、亡くなりました。村人は、誰も同情しませんでした。その後、雨の晩になると青白い炎が現れ、村人を悩ましたと伝えられています。

森のおもちゃ箱 Forest Toy Box

2016年6月にリニューアルオープンした児童遊戯場は標高100~120mの勾配にあり、高さを利用した長いローラーすべり台が子ども達に大人気です。



みんなの広場 Everyone's plaza

大阪平野を一望しながら多彩な使い方ができる広場です。地下には防災施設として、プールを有効活用した防火水槽があります。



公園周辺の見どころ

枚岡神社 Hiraokajinja Shrine

枚岡梅林に隣接して、河内の国一之宮「枚岡神社」があり、一年をとおして多くの参拝者で賑わっています。



暗峠 Kuragaritoge Pass

「日本の道百選」に選定された「暗越奈良街道」。奈良と大阪の境にある「暗峠」は急勾配が続く難所です。石畳や灯籠などが歴史を感じさせます。



あじさい園(府民の森) Hydrangea Garden (Prefectural Forest)

関西地区最大級の規模を誇るアジサイが、延長1,500mのプロムナード沿いに咲き誇ります。その数は30数品種2万5千株以上に及びます。6月中旬から7月中旬に開催される「あじさいまつり」には、毎年たくさんの人が訪れます。



児童遊戯場

